



ボランティア・かわらばん No.107

編集／発行：安城市ボランティア連絡協議会（安城市社会福祉協議会内）

〒446-0046 安城市赤松町大北 78-4 Tel-0566(77)2941、Fax-0566(73)0437

福祉の輪が広がるマッチング交流会に参加して

平成28年1月31日（日）『地域福祉マッチング交流会＆サロン活動博覧会』が、安城市文化センターで開催されました。市内の福祉施設・町内の福祉委員会・市民活動団体・ボランティアなどが参加し、“してほしいこと”と“できること”を繋ぐ（マッチング）場です。

達人の技の披露、ものづくり（体験）コーナー、ふれあいカフェなどもあり、熱気にあふれたイベントでした。連協としては「災害時要援護者サポートブック」出前講座を宣伝し、数件の交流があり、今後講座を実施していく予定です。今年度は参加できなかったグループも、来年度は参加を考えてみてはいかがでしょうか。



「災害時要援護者サポートブック」出前講座で協力！

平成27年11月14日（土）桜井西町町内会の避難訓練が町内西部地区で行われ、その一環として車椅子の扱い方の出前講座を実施しました。

当日は雨天にも関わらず150名が、地元消防団の広報車による訓練開始広報を合図に、傘を差し又雨合羽を着て、桜西ちびっこ広場に集合し、更に未集合者の安否確認の後に、事前に訓練を受けた中学生が押す車椅子を先頭に『とうみづか公園』に避難しました。

ぬかるむ公園の中、大多数の人が、車椅子の安全走行・段差の昇り降り等の体験をし「車椅子を、便利に利用出来るようになった」との声も聞けました。



生き生きセミナー！「楽しもうボランティア活動」開催

楽しもうボランティア活動が2月の毎土曜日、4回にわたって開催し13名が参加しました。

今回14のボランティアグループが講師となり、それぞれのボランティアの内容を講義や体験をまじえ紹介されました。今年からは終了後に交流ブースを設け、お茶を飲みながら受講者自身からの率直な意見を交換をし、ボランティアを身近に感じてもらいました。その結果ボランティアグループへの入会やイベント参加の実績も得られました。



尾張旭市ボランティア連絡協議会からの視察研修

平成 27 年 11 月 18 日(水)尾張旭市ボランティア連絡協議会の加盟グループの皆様が、当連絡協議会に視察研修のため社会福祉会館に来訪しました。平成 19 年にもお越し頂き今回は 2 度目です。

研修は、ボランティア連絡協議会の組織運営および取り組みについて。ほか、連絡協議会と社会福祉協議会との連携について等。当会は 26 年度事業の概略を述べ、組織構成・恒例の行事などを解説しました。

また、日ごろ役員会で協議しているボランティアの高齢化や増員について建設的な意見交換をし、有意義な研修になりました。

「きつつき会」の最近の活動状況 (トピックス)

点訳ボランティア「きつつき会」の主な活動項目として、①蔵書の充実、②「生活情報誌」と「おたより」の発行、③体験教室の実施、④会に必要な器材の整備等があります。

① 蔵書は今年度 10 タイトル点訳し、内 2 タイトルを全国規模のサピエ図書館※に納本しました。

② 点訳した「生活情報誌」と「物語」を毎月発行しています。通算では発行以来 144 号になりました。

その間、市の施設のイベント情報を平成 25 年から、平成 27 年からは ENEOS の童話賞作品集の紹介を始め、内容の充実を図ってきました。

③ 体験教室は小中学校 4 校、その他で 2 ヶ所実施し、点字に対する理解活動を進めてきました。

④ トピックスとして、会に必要なパソコン 2 台を、「車両競技公益資金記念財団」の助成を得て、去年購入することができました。

※サピエ図書館とは、点字図書・録音図書の全国最大のデータ図書館



助成金で購入したパソコンで点訳作業

西三河ボランティア連絡会「情報交換会」に参加

1 月 23 日(土)みよし市立福祉センターで開催され、7 市 1 町から 135 名が参加されました。

2 部構成で行われ、第 1 部は小菅もと子氏の講演で、認知症について学びました。

第 2 部は認知症や高齢者に対しボランティア活動に取り組んでいる、安城市を含めた 3 市から活動発表がありました。

当会からは介護者おしゃべりサロンの方が、大変な介護もメンバーと会話し、ふれあうことで救われているということを発表しました。

高齢化社会を迎え、介護者人口の増加とそれに伴う『老老介護や在宅介護』という切実な問題に対し、ボランティア連協もよりボランティアの力を活かした対策に取り組んでいけたらと思います。

